

平成23年度 第2回新城市市政モニターアンケート調査結果

アンケート実施期間 平成23年6月1日（水）～6月15日（水）

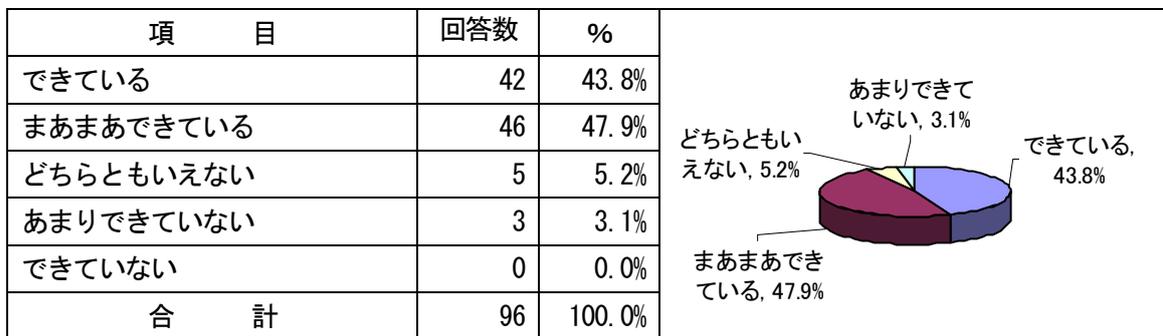
回収率 96%（96人／100人中）

（%は小数点第2以下を四捨五入してあるため、合計が100%にならない場合があります。）

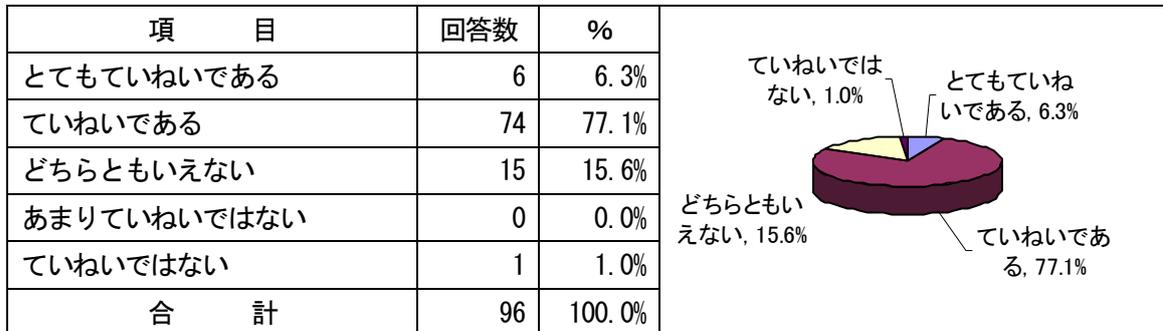
テーマ1 市職員の対応について

市職員は、市民の立場に立って考え、親切な対応と笑顔で接することを心がけています。

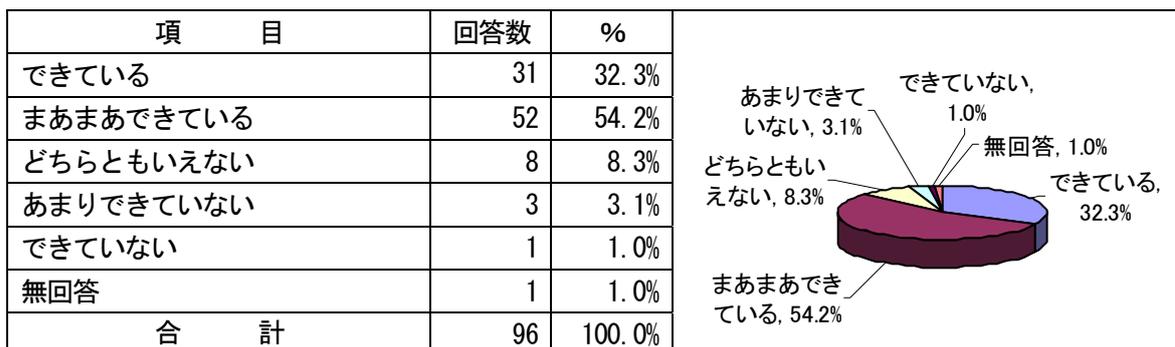
Q1 市職員は、来庁する方々に対し、きちんとあいさつができていますか。
（1つ選択）



Q2 市職員の言葉づかいについて、どのように感じますか。（1つ選択）

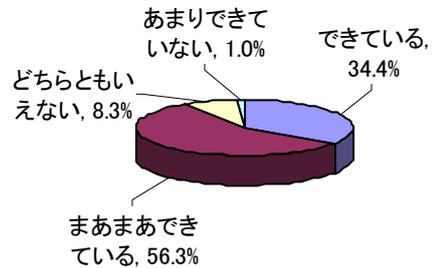


Q3 市職員は、親切でていねいな対応ができていますか。



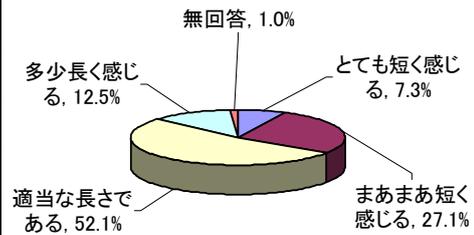
Q4 市職員は、きちんとした身だしなみができていますか。

項目	回答数	%
できている	33	34.4%
まあまあできている	54	56.3%
どちらともいえない	8	8.3%
あまりできていない	1	1.0%
できていない	0	0.0%
合計	96	100.0%



Q5 窓口における待ち時間について、どのように感じますか。

項目	回答数	%
とても短く感じる	7	7.3%
まあまあ短く感じる	26	27.1%
適当な長さである	50	52.1%
多少長く感じる	12	12.5%
長過ぎてイライラする	0	0.0%
無回答	1	1.0%
合計	100	100.0%



テーマ2 たばこと健康について

市では「しんしろ健康づくり21計画」の推進のため受動喫煙防止対策をすすめています。

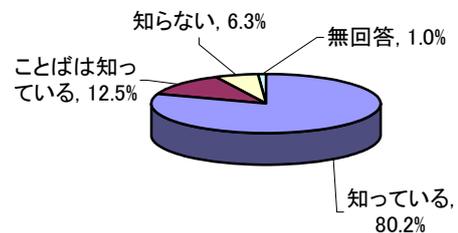
受動喫煙：他人が吸っているたばこの煙を吸うことです。喫煙者同様、がんや心臓病などさまざまな健康障害を引き起こすおそれがあります。

Q1 禁煙にしたほうが良いと思う施設はどこですか。(いくつでも)

項目	回答数
官公庁	68
教育機関	83
保健・医療・福祉施設	91
企業・事務所	44
文化・運動施設	63
公共交通機関	71
金融機関	71
店舗・娯楽施設	39
宿泊施設	33
飲食店	49
禁煙の必要はない	4
合計	616

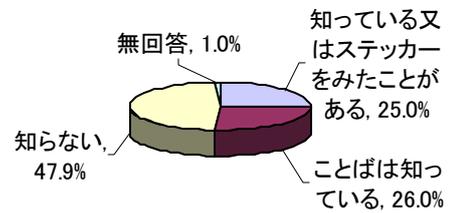
Q2 受動喫煙の害について知っていますか。(1つ選択)

項目	回答数	%
知っている	77	80.2%
ことばは知っている	12	12.5%
知らない	6	6.3%
無回答	1	1.0%
合計	96	100.0%



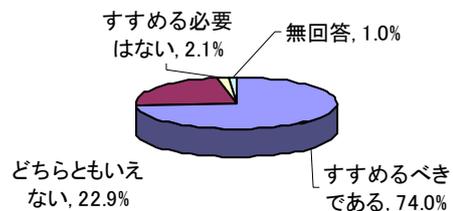
Q3 受動喫煙防止対策実施施設（認定施設にはステッカーが貼ってあります）について知っていますか。（1つ選択）

項目	回答数	%
知っている又はステッカーをみたことがある	24	25.0%
ことばは知っている	25	26.0%
知らない	46	47.9%
無回答	1	1.0%
合計	96	100.0%



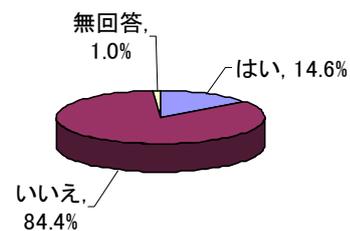
Q4 受動喫煙の防止に向けてどう思いますか。（1つ選択）

項目	回答数	%
すすめるべきである	71	74.0%
どちらともいえない	22	22.9%
すすめる必要はない	2	2.1%
無回答	1	1.0%
合計	96	100.0%



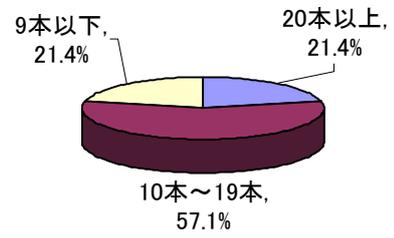
Q5 あなたは現在たばこを吸っていますか。（1つ選択）

項目	回答数	%
はい	14	14.6%
いいえ	81	84.4%
無回答	1	1.0%
合計	96	100.0%



Q6 1日約何本吸っていますか。(1つ選択)

項目	回答数	%
20本以上	3	21.4%
10本~19本	8	57.1%
9本以下	3	21.4%
合計	14	100.0%



テーマ3 自治基本条例について

前回に引き続き、延べ500人の意見を聞いてまとめた「市民のことばによる新城市自治基本条例（たたき台）」で記述されている内容について、ご意見をお聞かせください。

今回は、「1まちづくりとは？」というテーマです。5つに分けて質問させていただきます。

「市民のことばによる新城市自治基本条例（たたき台）」に、まちづくりの定義として、次のような記述があります。

(1) まちづくりとは

- ・住みやすいまちとなるために、市民が行動することである。
- ・住みやすいまちとなるために、行政が行動することである。
- ・住みやすいまちとなるために、議会が行動することである。

Q1 まちづくりの定義について、あなたのご意見をお聞かせください。

・以前勤めていた会社の幹部研修会で講師から次のような言葉を聞きました。1年先を考える人は種を播き、50年先を考える人は木を植え、100年先を考える人は人を育てると言いました。住みやすい社会造りには無論、市民・行政・議会の働きも大事ではあるが、その前にまず人の心・行動を育てるところから出発すべきではないかと存じております。

・今のところ特になし。

・インパクトが薄い。”行動することである”の部分、立場に合わせた内容に変えたほうが良いと思う。

・生まれた赤ちゃんから、終末期のお年寄りのいる家庭の人々が生活しやすいこと。

・老若男女、大人、子ども、健常者、障がい者がともに行動できること。

・書くことはいいと思いますが、行政は行動していますか。

・形だけにとらわれず、コミュニケーションの取りやすいまちづくり(絆)。

・議会、行政、市民が協力していけるとよい。

・議会の行動が少ない気がする。

・行政 市の職員が手本・見本となって行動してほしい。(一生懸命な姿が見られない)

・行政と市民の一体化により実現できるものとする。

・行政や議会がまちづくりをするのはきれい事。やはり基本は市民一人ひとりの行動であると思います。

・行政や議会ではなく、市民一人ひとりが大切です。老人が増えるこれから、元気で働くことができるボランティアをたくさん作ってほしい。

・具体的な住みやすいまちが見えると行動がとりやすいと思うが、住みやすいまちと言うのが、それぞれの立場(市民・行政・議会)や世代によって違いがあると思う。

・現場、行政、議会それぞれの思いはあると考えますが、市民も行政に求めるばかりではなく、行政、議会を動かすくらいの何か？が必要かもしれません。

・行動といっても実際にはできるだろうか？

・子供が安心して暮らせる町。よい教育環境や医療が整っていることと、進学、就職ができること。

・子どもから大人、お年寄りまで長く安心して暮らせる町にすること。

・これで良いと思う。

・市長の行動力もほしい(強いリーダーも必要)

・市民、行政、議会が行動すること。

・市民、行政、議会がそれぞれの役割を自覚し連携して、より住みやすいまちにしていけるために

行動することだと思います。
・市民・行政・議会とすべてを分けてしまうのではなく、それぞれの役割のもと一緒に作っていくものだと思う。
・市民・行政・議会の3つの関係が見えにくい。現在、市民だけが意識的にクローズアップされているように見える反面、行政・議会の本来の存在意義を今一度見つめ直し、基礎固めをすることが大切だと感じる。
・市民・行政・議会が行動する他、これらが協力し合ってよりよいまちをつくるために、話し合うことも大切だと思う。
・市民及び行政が行動するのは当然で問題は無いと思いますが、議会が行動することには？です。今までに議会が行動した事例がありますか？市側の追認しかしていない様に感じます。
・市民が意見を出し合い、議会がそれを聞き、行政が実行する、のはどうでしょう？
・市民が行動する内容等について、行政、議会が協力する。
・市民が先頭に立って行動するのはむしろかしい。行政がリードして行動して欲しい。
・市民と行政が一体となり連携をしていくこと。
・市民と行政の協力が大切だと思います。
・市民の意見が、行政にいかされることだと思います。
・市民一人ひとりが平等で住みやすいまちとなるように、行政が偏りなく市民の意見を聞き、行動して欲しいと思います。
・市民一人ひとりの意見を、行政が取りまとめ、議会で決める。一人ひとりの意見がきちんと議会に届くように、体制を整えるべき。
・市民も行政も議会も3者行動すること。
・住民・市民と行政とそこに居をおいて活動している企業・団体、そこに権利を持っている人たちの共同作業。住民が中心的担い手であり、それを支援する行政があり、両者の緊密な共同作業としてまちづくりは成り立つ。住民主体のまちづくりである。
・住民が住み心地の良い魅力あるまちとなる為に行動すること。
・新城市は、市街地あり、過疎地ありで地形も立地条件も複雑である。誰もが納得できる「住みやすいまち」は無理と思う。行動は当然であるが、願望を叫ぶだけの行動では困る。従ってまず最初は、現在の本来の機能に従って、「市民・市会議員」→議会(検討・決定)→行政実施を(まともな仕組み)(努力)をするべきだと思います。そして、この本来のルートで解決できない場合が発生した時点から、この条例を出発させるべきだと思います。また、実際に運用しながら「たたき台」を検討すべきで、資格・能力のない人が修正しても効果は少ないと思う。
・少し分かりづらい。
・ずっと住み続けたいと思える町。
・素晴らしい定義であるが、本当に行われているのだろうか。
・全てあっていると思う。全体で協力しないと、いいまちを実現するのは難しい。
・全ての発進は市民である。
・住みやすいまち(地域)になるために、まず市民がどのような地域にしたいかを話し合い、それから行政・議会が考えていただけることだと思います。市民・行政・議会がお互いに連絡し合い、どこで何を行うかを明確にしていくことが大切だと思います。
・住みやすいまちづくりをし、市民と行政が協力して、行動すること。
・住みやすい町となるために、行政が行動し、市民が協力していく事だと思う。
・住みやすいまちとなるためには、市民だけでは無理。行政、議会、どれかだけでは無理だと思う。全てが行動することでしか成り立たないこと。
・住みやすいまちになるための基本は、まず、一人ひとりの意識づけだと思います。その一つが、家庭・子育て・環境作り・・・などで、その基礎をしっかりとものにすれば、次へのステップもうまくいくと思います。
・スローガンのようで分かりやすい。
・全員で協力すること。一人ひとりが少しずつ力を出すことで、大きな力になると思います。
・第一に、観光地桜淵公園の活用。例えば、軽四市を広場で近隣市よりの参加。

・治安維持、環境整備、ウィークポイントの改善。
・定義はこれで良いと思いますが、最終的な(理想)目標を示す事も良いではないか？
・定住していける町にしてほしいです。
・特に市民が行動することがとても重要になってくると考えます。
・何か分からない、また、インパクトがない。
・働ける場所があり、地域で取り組む行事などがあり、それがまちづくりへの参加へとつながって市民の活力になれば。
・まず、行政が基本の方針を出すことだと思う。
・まず始めに、行政が問題を考えて市民に呼びかけ、市民が行動し、実行する。
・まちづくりとは、市長、行政、議会が市民の意見を聞き、行動するのが基本だと思う。
・まちづくりとは、住民主体で進めるべきである。
・まちづくりについて市民が参加しやすい環境を整える必用がある。
・まちづくりに定義なんてあるのでしょうか。人それぞれでまちがなりたっています。決まった定義が必要でしょうか。
・まちづくりの基本は、市民一人ひとりが自分たちの住むまちのことをよく知った上で、他のまちの人から見て「うらやましい」と思われるような良いまちにしたいと思いき、行動することだと考えています。そのために行政からの働きかけも必要です。
・まちづくりは、私達市民が前向きにとらえ、たえず自分自身の身体の中で意識していくことが一番大切なことだと思います。やはりそれには一部、青写真のようなものが出来ていれば、よりいっそう前向きになれると思います。
・まちづくりは人づくりであると思う。
・みんなが行動できればいいと思う。
・ゆりかごから墓場まで安心。
・良い。
・良い定義だと思う。
・良いと思いますが、3つをまとめてもいいのではないのでしょうか。
・より具体的に記述した方が分かりやすいと思う。
・私の思いと同じです。
・議会は開かれるものであって、結局行動するのは行政ではないのでしょうか？ 下の方の質問の中に「地域」という言葉が出て来ましたが、「地域が行動する」というのもいいかもしれません。その場合、表示の順番ですが、大きいものから小さいものの順にした方がいいように思います。「行政が行動する」→「地域が行動する」→「市民が行動する」。「市民一人一人が行動する」というような、「一人一人」のような言葉を入れる事によって「自分も行動しなければいけないんだ」と思うことができるかもしれません。
・今現在のため、今の子供達が社会を担った時、そんな近い将来までを思い描いた時に、今存在する諸問題や、今後起きてくる問題に対して、市民全員が夫々の立場で出来得る「より良くするための知恵や行動を発揮し続けること」だと考えます。
・子供やお年寄りが安心して住める街であること。 子供達が平等に教育が受けられること、高校までは希望者が全員金銭的などの理由により、進学を諦めることのない様にしてあげられませんか？ また、お年寄りが手助けを気兼ねせず求められる状況に出来たらいいと思います。
・市民 行政 議会 共に協力し合うことでスムーズに住みやすいまちになるとおもいますが、どのように協力したらよいのかが、一市民でなく地区ごとにひとりでもいつからでも参加できる会があったらよいと思う。
・市民・行政・議会が連携し、協働することが不可欠ですね。できれば、幅広い市民から意見を聴けるといいですね。欲を言えば、新都市に勤務・通学する市外の人意見も聴けるといいですね。
・市民が行動することである。の所は、まったく意識のない人から見るとなんで市民が運動しなきゃならないの。などの意見が出そうだと思います。それをその前後で示せるといいと思います。

・市民が行動するのは良いと思いますが、給与所得者(サラリーマン)にとってどれだけ時間がとれるか不安です。私は7時前に家を出て、21時過ぎに家に帰ってくる生活を送っています。そのため、基本的には協力できないと考えています。(都合がつく日なら協力しますが・・・)強制にならないよう配慮してもらいたいと考えています。
・市民一人一人が、考え行動でき意見を言える町がいいと思う。
・主語は市民だと思います。なぜなら、行政に携わる人も議会を行なう人も市民の一員だから。
・書いてあることに特に反論はないです。書いてある通りだと思います。
・都市計画がまちづくりの基本だけれども、何をもちって住みやすいといえるのかが重要だと思う。飾りのような医療施設であったり、利用の便利さにかけるような官庁では意味もないし、ただ単に、新しいものを計画し、建設すればよいというものではない。いま、あるもので、いかに税金を使わず、コストをかけず、向上するかが重要なまちづくりの基本だと思う。そしてそれがあって、次に、そのために皆が行動できる。

「まちづくりの役割」は市民であることを中心に、次のようにまとめました。
(2) まちづくりの役割
<ul style="list-style-type: none"> ・市民全員がまちづくりの主人公である。 ・「わたしが動けば、新城が変わる」という気持ちで、一人一人その力を最大限に発揮し自ら実践する。そのために参加できるしくみをつくる。 ・気持ちよいまちづくりを展開する。 ・無理をしないでできることから始める。 ・老若男女それぞれが力を発揮できるまちづくりをする。
Q2 この「たたき台」の記述について、あなたのご意見をお聞かせください。

・”無理をしないでできることから始める”というのが、特にいいと思いました。
・「気持ちよいまちづくり」→「心温まるまちづくり」概ね良いと思いますが、変えたポイントとそのまま維持するポイントが明確になれば、さらに市民に働きかけやすいと思います。
・「市民全員が主人公」みたいな感じで、一言にまとめてもいいと思う。
・「無理をしない……」はどうか？早くやるべきではないの？
・5点目について。老若男女それぞれがとあるけど、そういう機会をどうやって作るかが問題だと思います。
・Q1で回答した通り、そのことだと思います。一市民として生活していく上で、自分のできることから常識を持って行動していきたいと思います。
・いいと思います。
・意見の出しやすい環境を整えること。
・一般市民がこれならと思える記述は「無理をしないでできることから始める」だけで、その他はそこまでの意識を持って生活するのは難しいと思う。
・今だに、昔の風習などが残っていたり、やはり、若い人の意見はとおらなかつたりする地域です。良い所は今までどおりにしていきたいが、やはり、世代交替して欲しい部分もある。
・異論はない。
・気軽に参加できる形ができるといいです。
・気持ちよいまちづくりというのは抽象的でイメージがわかりません。住んでいる人にとって気持ちよいまちか他のまちから来る人にとって気持ちよい町か、でイメージが変わるでしょうし、「気持ちよい」という表現が幅が広い気がします。
・行政に頼らず、小さなことでもいいので自ら行動しなくてはいけないと感じた。
・行政はかかわらずで皆さんで協力して進めてくださいと感じます。
・クリーンエネルギーを考える会とか美しい新城にするための姉妹都市を増やし他県や他都市から学ぶ会とか高齢者がいきいきと暮らせるために高齢者から学ぶ会とか高齢者と幼児の会

<p>など具体的にどんどん始めて、お手伝いにはボランティアをいつからでも短時間でも気軽に協力できる体制と申し込みが簡単なことが大切だと思います。</p>
<p>・言葉に対しては賛成であるが、どのような場や具体的な方法を考え、進めていく事が大切であると思います。若者が一生懸命に考えて進めようとしても年配の方がためにしたり、評価がよくなると又はよいことを見ると人が行ってきたことを自分が行ってきたと主張したりする方がいるので、みんなどうまとめていくかを考えてくれる人がリーダーシップをとっていただけるとうれしいです。</p>
<p>・この記述のとおりでいいと思う。</p>
<p>・この記述は理想だと思います。ただし、市民全員が「まちづくりに参加しなければならない」というような強制力のあるものになると、時間と労力がそちらにさかれ、自分の時間がなくなるような気持ちになる人もいます。無理して「まちづくり」をするのではなく、ここ(新城)に住み続けるために、もっとやわらかいイメージがあるといいと思います。</p>
<p>・この項目は、非常に大切な事だと思います。「私が動けば、新城は変わる」本当にそのとおりです。しかし、私はどう動けばいいのでしょうか。TVを見ていて、今回の震災でもそうですが、頑張っって自分という存在のある生き方をしている人もたくさんいます。しかし、今、私はどう動けばいいのかわからない状態です。</p>
<p>・この実践・実行のために、行政・議会の積極的関わりが見えるような「まちづくり」ができると良い。文言にも表せないものかと思う。</p>
<p>・このような気持ちをもってやることはもちろん大切ですが、問題はこの先であって、これらができるしくみを具体的に掲示することが大事だと思います。</p>
<p>・コミュニティーのようなところがあって、そこで無理強いでないまちづくりができればよいですね。(まず、話し合い、意見を出し合って)</p>
<p>・最初の一步が難しい(行動)。</p>
<p>・サラリーマンの必殺技に関する本に次のような事が書いてあり、また次の掲げる言葉を人の目につく所に貼っておいてください。「私がやらねば誰がやる、今やらないでいつできる、ここでやらないでどこでやる」どうか市民一人ひとりの心意気の高揚に役立てば幸いと思って記入しました。</p>
<p>・参加しやすい状況を作る。(難しいかも)</p>
<p>・市民が動けるような活動を行政が提案すれば、もっと活動が増える気がする。</p>
<p>・市民が参加できるしくみをつくり、発揮できる場をつくる。大人から子どもまで参加できる場をつくる。</p>
<p>・市民が主人公というのは、言葉的に聞こえはいいが責任感がないので進まない原因にもなる。</p>
<p>・市民活動団体などと行政がそれぞれの特徴を活かしながら協働し、多様化する市民ニーズに対応可能な行政運営に向けて、さらなる取り組みに努め、協働体制を強化していく為にも、市民と行政との信頼関係をより努め、役割と責任を担い、積極的な情報の共有化を図っていく。</p>
<p>・市民主人公。役所は献身的で先頭に立つ意欲ほしい。</p>
<p>・市民全員が気持ちよく参加できるまちづくりを展開してほしい。</p>
<p>・市民全員が主役であるはずですが、現実には行政や市民運動に関心のある人達の間で行われていると思います。私のように、あまり関心のない人も参加できるように全員を巻き込んでいけるようなものを考えないといけないかなと思います。</p>
<p>・市民一人ひとりが相手と何事にも思いやりを持つことが大事です。</p>
<p>・主人公というか、責任者だと思う。市民の気持ちを積極的に市の行政議会も受け入れる事だと思う。</p>
<p>・主役は市民であるが、全てに行政が市民に”まる投げ”している傾向が見られる。</p>
<p>・上記のまとめに一人ひとりが協力できるように市民1人が立ち上がってくれるとよいです。</p>
<p>・少し漠然としている気がする。誰のための何のためのまちづくりなのか。全ての人がそれぞれの力を出して新城市はどこに向かおうとしているのか。。</p>
<p>・住みやすいまちづくりの主役は、財力だと思います。庶民の暮らしに一番重要な雇用、医療その他の文化事業の補助金等貧しい市町村との差が大きいようです。(私の見解範囲) 目的が</p>

<p>経済を除くゴミ拾いや仲の良い人間関係を求めるならこれで良いでしょうが、経済的豊かさの追求、施設の充実、市の財源獲得などは「一人ひとりがその力を発揮し、実践する」だけでは説明不足。</p>
<p>・全員が主人公の舞台はありえない。行政の怠慢である。</p>
<p>・率先して動かれる人の発掘が必要だと思います。</p>
<p>・そのとおりです。その為の意識付けや、行動の指針となる“目的・目標”を明確にすることが必要となります。</p>
<p>・その通りだと思います。色々な人が参加できるしくみが出来るとよいと思います</p>
<p>・たたき台そのもので市民全員がまちづくりの主人公である何事にも先ず参加する。</p>
<p>・特になし。</p>
<p>・とても分かりやすい内容で、良いと思います。</p>
<p>・なぜそうするのか。皆が共有(共感)できるテーマや目標があると、記述にある行動につながる”気持ち”ができるように感じる。</p>
<p>・発揮できる方法が、皆さん分からないのです。新城が元気になるには、私たちは、どうしたら何をしたら良いのですか？教えてください。</p>
<p>・人々が集まる場所、方法も付け加える事も必要かと思う？</p>
<p>・一人ひとり思いがあっても、なかなか行動には移せないと思う。</p>
<p>・一人ひとりが最大限ではあるけれど、できることから始めるという視点が大切になってくると思います。</p>
<p>・一人ひとりの少しずつの努力が大切だと思います。</p>
<p>・まず自分自身、家族・職場、学校、地域、市・・・小さな参加からそれが一人ひとりの大きな力になる。</p>
<p>・まずはしくみをつくること。</p>
<p>・まちづくりとは、そもそもどんなことをするのか？具体的な案を掲示しないとイケない。みんな日々の仕事に忙しいので、何も無いところ(目的)から動こうという気にならないと思う。</p>
<p>・まちづくりの主役は市長ではないか。市民一人の力は小さい。選挙で選ばれた市長は市民の代表。市長の意見は、市民の意見、その力を大いに発揮して欲しい。</p>
<p>・まちづくりの主役は市民全員かと思うがこの「たたき台」の記述を読んでも当たり前ではあるのですがよくわからない。</p>
<p>・まちづくりの主役について記述しているのに、論点がずれた内容が混ざっている印象を受ける。</p>
<p>・全くそのとおりである。効果が出てくるまで長い時間がかかる。</p>
<p>・むずかしい定義等よりも言葉より、隣近所の人とのコミュニケーションが必要です。</p>
<p>・無理をしないうでできることから。というのが良いと思う。全員が小さなことから、少しずつ行動すれば、より良いまちになっていくと思う。</p>
<p>・もっと生活しやすいまちづくりをする。</p>
<p>・良いと思います。</p>
<p>・老若男女それぞれが力を発揮できるまちづくりはいいと思います。</p>
<p>・私の想いと同じです。</p>
<p>・気持ちよいまちづくりを展開する。←どんなまちづくりだろうか！？</p>
<p>・今、みんな関わってないような書き方の感じがする。なんだか抽象的すぎて、分からない。逆に、自分とは関係なく感じる。皆が興味を持つような感じには受け取れない。</p>
<p>・参加できる、参加している実感がもてる事が大切だと思う。</p>
<p>・市民一人ひとりがアイデアを出し合い個性豊かなまち作りを行う。</p>
<p>・市民全員がまちづくりの主人公である。とありますが・・・。正直、平日や土曜日は仕事で休日は日曜日のみという週が多い為、休日に家の用事などを済ませていると、なかなかまちづくりなどに参加する時間が割けません。気持ちがない訳では無いのですが、新城の町はお年寄りが多い為か、区の行事が多すぎる気がします。その為、仕事で参加出来ませんと言にくいこととか考えると・・・。色んな事に参加する事に二の足を踏んでしまいます。</p>

<p>・市民全員がまちづくりの主人公であることは、その通りです。市民の意識は、どうなんでしょう か？ まだまだのように感じます。意識改革にも、取り組んでほしいと思います。</p>
<p>・誰を主語として書いているのかばらばらなので、少しわかりづらいように思いました。 例えば、「市民全員がまちづくりの主人公である」「わたしが?参加できるしくみをつくる」というの は、市が市民に向かって言っているような言葉ですが、「無理をしないのでできることからはじめ る」というのは、市民が言っている言葉のように聞こえます。市民の目線から書くのか、市の目 線から書くのか、統一させたほうが良いように感じました。 二つ目の文章ですが、「市民一人一人が自分の持っている力を最大限に発揮し実戦できるしく みをつくる。」程度でよいのではないのでしょうか。</p>
<p>・動くの意味がハッキリしない。行動ならば病人や病んでる人はどうなの？ 抽象的で今一つハ ッキリしません。気持ちよい？ 無理をしない？ などなど。</p>
<p>・良いと思います。道のゴミ拾いなど簡単なことから始めたらもっとよいと考えます。 あとはリーダーのやる気と力量にかかっていると思います。</p>

「まちづくりの心意気」として、まちづくりの基本的な考え方を中心に、次のようにまとめました。

(3) まちづくりの心意気

- ・一人ひとりの存在を認め、お互いに信頼と協力の関係を築く。
- ・個人の尊厳と人権を尊重する。
- ・固定された考え方を押し付けない。
- ・人と人がつながることが大事であり、良好な人間関係を築くために、意見が言える場をより多くつくる。
- ・知ろう、関わろう、理解しようという意識を持って参加し、地域のつながりを少しずつ変え、そして深める。
- ・個人で出来ないことは地域で、地域でできないことは行政で行う。
- ・個人、地域、行政それぞれの得意分野を活かし、助け合い、協力し合う。

Q3 この「たたき台」の記述について、あなたのご意見をお聞かせください。

<p>・“たたき台”からそれに対する意見まで市民に意見を求めるのは行政は何を考えているの か？</p>
<p>・「キレイ」にまとまっているが、「キレイすぎる」ように感じる。心意気と表現するなら、「”清く正しく美しく”行動しましょう」という記述より、少々雑でも多くの人が共有(共感)できる気軽な記述もあっていいのかなと思う。具体的ではないのですが…。</p>
<p>・「固定された考え方を押し付けない」……誰が押し付けるのか？</p>
<p>・「人と人がつながる」というのは良いと思います。個人でできなくても仲間でやれば楽しく明るく行えると思います。</p>
<p>・「一人ひとりの未来につながるまちづくり」新城市のみでは、少子高齢化が進んでおり、こどもの人数が少ない。その間にいる、働きざかりの世代に対して、メリットのある文言があるとよりよいと思う。</p>
<p>・②、③に関して、全く感じられない。地域の人たちの目が届くことは良いことでもありますが、プライバシーに関して全くない。それは各行政でも感じられる。</p>
<p>・3市町村が合併して5年がたちました。その恩恵を受けている人がこの新城市に何人おいで でしょうか。合併して良かった所は面積が広がった事位でしょうか？ 目に見えて良かったと感じる事こそ大事なことで、一人ひとり市民の目線が自然にその方向に向いていくような心意気を持つように願っています。</p>
<p>・3人居れば3人の考え方があり、なかなか自分の考え方を変えることはできないのが現実ですが、みんな少しずつ歩み寄って、自分が絶対正しいと思わないことが大切だと思います。</p>

<p>・5番目の文章ですが、「知ろう、関わろう、理解しようという意識を持って参加する」だけで良いと思います。</p> <p>他は良いと思います。</p>
<p>・相手(個人)の存在を認め、尊重する。相手を理解してあげる事。</p>
<p>・あえて、独自色を出す必要もなく、他の市が先行して活動していることを堂々と真似してもいいのでは？</p>
<p>・いいと思います。</p>
<p>・以前勤務していた市内の会社で上記とは真逆な考え方の経営者の下で働いていました。退職する際、いやがらせを受けました。そういう考え方の人がこの新城ではある程度の力を持っているのではと思うときれい事のように聞こえる。</p>
<p>・うまく表していると思う。</p>
<p>・家族内でも話し合う機会を作ることが大切。(日常会話の中でもいいので…)まちづくりで一番必要なことは、やはり人と人とのつながりであると思う。</p>
<p>・考え方を押し付けない、という点で、昔ながらの良い点、新しい感じの良い点をいかしていつてほしいです。</p>
<p>・行政の得意分野を活かし、発展させていく。</p>
<p>・近年、組単位でもなかなか会う機会がない。まず、この組単位の活性がまちづくりの第1歩だと思います。いろんな会が簡素化され便利な部分と同時に協力し合う心等薄れているのでは…。お祭りに学べ。</p>
<p>・ここまで書かないとだめですか。</p>
<p>・心意気、信頼、人間関係、考え方など記載する場合は慎重に。</p>
<p>・心意気としての考え方としてはよく理解でき、実践するとよいと思いますが、どのくらいの人が、このように考えているのか疑問に思います。また、これをどのように具体化していくのかが問題になると思います。地域で活動していて、「基本的な考え方」の意思統一ができるとうよいと思っています。</p>
<p>・心意気は大事なことだと思います。自分ではない相手の意見を理解することは、時にとても大変で意見をまとめるというのは、相手を理解し、自分に対しては許容的でないといけないと思います。</p>
<p>・個人、地域、行政それぞれの得意分野を活かし協力し合う。</p>
<p>・個人→地域→行政。個人の意見はなかなか浸透しません。</p>
<p>・個人で出来ないことは地域で、地域で出来ないことは行政で行う。素晴らしい事だと思います。しかし、このつながりをどういう形で押し進めていけばいいのでしょうか？個人の思いを地域につなげていく。個人と地域のコミュニケーションは、どんなふうにつなげればいいのでしょうか。人それぞれ考え方も様々だと思います。</p>
<p>・個人ではなかなか出来ないで、地域からやるのがいいと思う。</p>
<p>・個人の個性が尊重されて、押しつけのない自由なまちづくりが良い。</p>
<p>・固定された教育を押し付けない。この表現は違和感があります。次項目で意見の前に自由なとか、多様なを付け足せば済むと思います。</p>
<p>・たたき台で良いと思う。ただし、まとめ役が大事である。</p>
<p>・この記述のとおりでいいと思う。</p>
<p>・この程度のことなら、各地域の近所づきあいで誰もが本音と建前を使い分け暮らしていると思う。条例で心意気を表明するなら、人の心を感動させる各文が必要と思う。もし名文が無理なら(例えば)宮沢賢治の「雨ニモマケズ…」のような詩で表現すれば理解が深まると思う。</p>
<p>・この文面の記述はとても理解しやすかった。</p>
<p>・これでよいと思います。</p>
<p>・最初の一言を笑われたり、否定されたりすると何も話したくなくなったり、言い出しにくくなったりするので、そうならない場がありがたいと思います。</p>
<p>・賛成である。これについても時間がかかる。</p>
<p>・自分自身子育ても終え、子ども会とか地域の行事とかから疎遠になっています。「まちづくりの心意気」とは、地域のつながり・交流が必要なのではないでしょうか？人付き合いの苦手な者として、</p>

<p>言いたいことは十分理解できるのですが、少し不安です。</p>
<p>・自分の考えがまず第3者に言え、相談できる友人、地域との交流での話し合いに参加できるなど。</p>
<p>・市民一人ひとりがこのようなことを心掛けていければ、いいまちづくりができると思う。</p>
<p>・新城はとっても優しいまちです。今のままでも十分に満足していますが、より個人が人間として成長できる機会があればよいかと思います。</p>
<p>・すばらしい考え方と思います。</p>
<p>・全体の協力を得て進めていこうと伺えます。</p>
<p>・その通りです。賛成！！</p>
<p>・助け合い、協力し合う気持ち。</p>
<p>・多様でピンとこない。上記3点(○印)ぐらいで良いのでは</p>
<p>・地域内での交流の機会や協力関係が徐々に少なくなり、地域活動の担い手不足、地域ぐるみでの教育や福祉に対する取り組みが弱まっている。一人ひとりが共通認識を持って地域への愛着心を育み、新たなまちづくり(地域社会)を築く。</p>
<p>・できることは個人で、できないことは地域で、それでも無理なときは行政で行う。それぞれのつながりの中で助け合い協力し合えることが大事です。</p>
<p>・特になし。</p>
<p>・何となく漠然としていて、つかみ所のないような感じを受けます。</p>
<p>・人間関係や地域のつながりをわずらわしいと感じる人もいると思うので、意見を押し付けないこと。</p>
<p>・美辞麗句ばかりで鼻持ちならない。</p>
<p>・人との関わりを中心にした考え方でとてもよいと思います。</p>
<p>・人と人がつながり結びつくことがとても重要かと思います。</p>
<p>・人と人とのつながりは本当に大切なことだと思います。</p>
<p>・一人の人間の生き方として当たり前のことをあえて表現しなければいけない現代の世の中に考えさせられてしまう。</p>
<p>・一人ひとりがいい町にしたいと思える意識改革ができるといいです。</p>
<p>・まちづくりに対する誰の心意気であるのか？理解しにくい。</p>
<p>・無理強いしない。</p>
<p>・目の届かない所にも手をさしのべられる様なつながりをつくる。</p>
<p>もっと絞り込まないと何を求めているのか明確にならない。</p>
<p>・良いことが書かれていますが、整理したほうが良いと思います。①個人で意識する心意気②地域、グループで意識する心意気③行政を含め新城市全体で意識する心意気、以上の3つに分けて考えてみたらどうでしょうか？</p>
<p>・良いと思います。</p>
<p>・よいまちづくりは、私個人のしあわせとなる。</p>
<p>私の想いと同じです。私も独自の夢を持って頑張っていきます。</p>
<p>・皆が無関心であることを言ってるだけの様な気がする。～しない。～行う。する。ではなく～参加しよう。～しよう。のような未来に向けての希望であっても良い気がする。決められたような堅苦しい感じで受け入れにくいのでは？向上心につながるような言葉を選び、関心を持てるような言葉尻にしたほうが良い。面白みにかける。</p>
<p>・言うは易く、まず先決は実行する。</p>
<p>・更に掘り下げて、具体的な課題、身近なテーマ、それに対するアプローチ手段まで欲しい。但しそれは「待っていて示されるものではなく、自分達で見出して行くものが非常に多くある」と言う考え方も欠かせないと思います。</p>
<p>・考え方は素晴らしいと思います。おそらく多くの人も良いと考えるだろうが、中には好評しておきながら行動は意見の押し付けだったりが出る人がいそう。 自治を考えるとそういった人を柔らかく注意できる人が必要だと思います。</p>
<p>・災害時に頼れるのは、隣近所です。良好な人間関係を築くためにも、「絆」を大切にしたいで</p>

すね。
・参加者がこの考え方をいかに理解するかと感じました。考え方を共有するには、話し合いながら教育(共有)することが重要と感じました。
・住民主体のまちづくりが必要である。
・人と人がつながる→人と人が環がる
・内容が漠然としていますが、たたき台としては良いと思います。特に反論はないです。
・難しい問題だと思います。固定された考えを押し付けないがありますがこれが慣例です。と役所などに相談や話し合いなど行っても簡単に片付けてしまいますよね？まずは本気で新城を変えようと云う気持ちを、役所が行動をおこさないと変わらないと思います。

「まちづくりへの参加」について、参加のしかた・考え方を次のようにまとめました。

(4) まちづくりへの参加

- ・まちづくりに参加する、参加しないは個人の自由であるが、参加しない人にも情報提供・共有に努め関心を高める。
- ・長く続く活動をするためには、無理な活動をしない。まちづくりへの参加は、個人の自主性を尊重する自由で柔軟なものでなければならない。
- ・来るものは拒まず、去る者は追わずという考え方も必要である。
- ・さまざまな職業や世代の人々が参加しやすく意見を出し合えるような交流の場をつくる。
- ・意見を出し合う仕組みから取り残される世代がないように（特に小・中・高生など）、この人達が次代の担い手として重要であることを認識し意見を集めるしくみを検討する。

Q4 この「たたき台」の記述について、あなたのご意見をお聞かせください。

・”長く続けるためには、無理をしない”というのは、何においても言えることだと思います。とても重要だと思います。
・「来るものは拒まず、去るものは追わずという考えである。」というところがよく分からない。
・「交流の場」を作っても参加する人々は同じ顔ぶれではないでしょうか？
・「人を集めても金を取らないのがよい宗教だ」と聞いたことがある。(瀬戸内?)もしこの条例に人が集まらないなら、この運動に早く見切りをつけ、市議員に立候補して欲しい。そして、その議員の運動、行動を通して得た結果で、たたき台を修正したり、国会議員を目指すべきだと思う。そして、もし若い方であるなら、東北大震災で企業の海外流出は加速するであろうから、海外で世界を相手に地球のまちづくりを始められたら・・・と思います。
・「来るものは拒まず、去る者は追わずという考え方も必要である」というのは、確かにその通りですが、1番目の文章にも2番目の文章にもそのような内容が含まれているので、あえて、そこまではっきりと記述しなくても良いように思います。
・①何と言っても交通便第一である。②情報提供
・①についてあくまで「全ての市民に情報提供、共有に努め、関心を高めること」が先だと思います。文言に参加しないのも自由と書くのはどうかと思いました。②の考え方は、個人的には必要ではないと思いました。
・3番目の表現は好ましくなし。考え方には同感しますが。
・あまり決め事はつくりたくない方がよいと思う。
・いいと思います。参加について強要してはいけなし、参加可能な人は積極的に参加し、参加できない(しない)人でもいつでも参加できるように、常にオープンな状況にしてほしいと思います。

・意見を出し合う仕組みの出来ない世代がないように、若い世代の新しい意見を取り入れ検討する。
・一番重要なのは、将来のある子どもたちのことである。いい町、住みよい町と感じていれば大人になって、いずれ帰ってくるのでは？ただ帰ってきて働く場所がないと困ります。ここもお祭り参加を学べ(※各宗教もあり、どう対応するか。)
・いろいろな職業や世代の人々が参加しやすく意見を出し合える場所を作る。
・いろいろな人が、その人が持っている意見を出し合う事は大切です。しかし、その皆が出して意見がどういう形で前向きに「まちづくり」に表わされていくのか。老若男女いろいろな人の意見が重なり合ったり、否定しあったりしながら素晴らしい青写真になると思います。そして、老いた人の意見も非常に大切ですし、中・高校生のやわらかい意見も大切です。
・インターシップの参加をもっと呼びかけたら若い人たちが新城の良いところを知ってくれて良いと思う。
・学生の意見を聞くことは良いことだと思う。
・かたよった意見にならないことが大事だと思う。
・学校や、何かのイベントなどの時、アンケートを求めたり、気軽に参加できるものがあるといい。
・クーベルタン男爵はオリンピックは勝つ事ではなく、参加する事であると言ったそうです。市内には鳳来寺山自然科学博物館、設楽原歴史資料館、長篠城址保存館、図書館等いろいろな見物カ所があります。そうした資料館のイベントを最大限に活用して私たちのまちではこんな事を行っているのかと関心を持っていただければ少しでもまちづくりに寄与できるのではないでしょうか。
・来るものは拒まず→そこでよく選別絵お刷る必要がある。ある程度の基準を定めて拒むことも必要であると思う。
・子ども園の説明会や小学校の統合について、もっと出やすい時間帯にお願いしたい。
・これで良い。(グループを良く考える事も頭に入れると良い)
・これは、今までやってきたと思うが、とても良いことだとおもう。
・参加、不参加は、個人の自由であり、尊重しなければならない。
・参加していない、あるいは、できない人達へも情報提供していくこと、本当にその通りだと考えます。
・参加しない人でも、情報が伝わってくるのはありがたいです。
・参加しやすい活動から行い、徐々に参加する人を増やしていけるようにしたらいいと思う。
・参加しやすい交流の場づくり。
・参加するか参加しないかは個人の自由かもしれないけれど参加しやすい環境を作る必要。
・参加できない人も新城が大好きで少しでも暮らしやすい町になったら本当にうれしいです。
・参加の仕方は、この通りでよいと思いますが、個人の自由にする為、結局の所、一部の人の間で行われていくのであり、あまり変化していかないのだと思います。
・参加への考え方はよくわかりましたが、参加の仕方という、どのように参加すればよいのか分からないような気がします。しくみを検討すると書いてあるので、是非参加方法を具体化してください。
・賛成です。長い時間、根強い行動が必要です。
・市民と行政の協働による市民参加のまちづくりに努める。市民参加のまちづくりを進めるために、その啓発、普及、情報提供等の環境づくりに努めるとともに、市民の活動を支援する体制づくりを進める。
・小・中・高生という次の世代が次代の担い手として、特に重要である。
・小・中・高生の意見を集めるというのは、大切だと思いました。
・上記の事が本当に行われるように願います。
・小中高も参加が楽しめる。おまつりやイベントを無理がない範囲で増やしていけたら良いと思います。
・新城がよくなれば必ず私がいあわせになる。自分の町を愛するのは当然なり。

・世代を超えて意見を出し合える場があるのがいいと思う。参加できない人にも、興味のある人たちはいるので、情報の提供をしていければいいと思う。
・そうですね。さまざまな世代の人々が参加できる場というのは良いと思います。ただ、参加を自由にするのはいいんですが、あまり自由すぎるとどうかなと思います。
・その通りですね。ただ、意見を出し合う機会はどこにあるのですか？
・その通りですね。過去に捉われない柔軟な思考、しなやかな強さ、なども欠かせないと思います。
・大変良い考え方だと思います。前面に出なくても、出来ることは参加しようと思っている人もいます。
・確かに、子どもたちの意見は、とても大事な事なので、やや中心的になっても良いと思う。
・誰でも自分が活動するのはある程度の見返りが必要だと思います。(興味を持たせる、楽しみがあれば人を誘える)
・常にこのような意見を持ち、続けていくことが大切だと思う。参加する、しない・・・という表現について、目に見えるものばかりではないので、全ての人が何らかの形で参加していると思われるため、情報提供・共有を前面に出した方が受け入れやすい。
・特になし
・独居老人、体の不自由な方でも自由に意見を出したり、参加できるよう地域や行政でサポートしていくことも必要だと感じた。
・とても良いと思う。しかし、一般論過ぎて新城らしさが感じられない。
・長く続く活動だと何も決まらない。期限を決めて活動しないとだらだらしてしまう。参加はするけど、結果が出ない・・・。
・一人でもできる参加のカタチが提案できると、参加が気軽になり少ずつ広がっていく・・・というのがあるのかなと感じた。
・まずは市政へ興味を持つ事。
・まちづくりについてリーダーシップの方と区の役員その他のかたがたによって地域の活性化のつながると思います。地域の人の考え方により、これは実現できると思います。
・まちづくりの参加者に対し、ポイントを出し、何らかの特典を設けるようにしたらどうですか？これにより維持、継続が保てると思います。どうでしょうか。
・まちづくりの参加は、日、時など大変むずかしいと思う。休みなどが合わない。特に会社等の土日の休みが変わる今年の7月8月。家族との関わり、地域・行事など・・・。まず不安だ。
・まちづくりの参加はとても大切ですが、何かをしたい人はたくさんいると思うけど何からしているのかも分からない現実。もっと多くに呼びかけてほしい。年をとってもできることがあると思います。
・まちづくりへの参加のこのたたき台には特に意見はありません。
・昔から住んでいる人の意見が絶対で若い人、他からの転入者にはなかなか参加しにくいと思います。
・問題ないと思います。
・よいと思います。
・より多くの方が関わりやすいように配慮する。
・理解を求める努力をすべき
・私の思いと同じです。愛着を持ち、守り続けたいまち。みんなで意見を出し合い、作り上げていけたらいいと思います。
・学生のなどの意見はとても重要だと思います。但し、年代により考え方は全く違うし、年輩の方は若い人に自分の考え方を押しつける人が多いように感じます。それを行かせないよう(参加者が自分の意見が通らずやる気をなくさないよう)な対策が必要と思いました。
・参加、不参加は自由に決まっているが、それしか言っていない。自由であることを、認知してもらうことも大事だが、参加してもしなくても、意見を自由に、提案できる仕組みのあり方も表現してはどうか？発言だけでない方法を定義しなければ、誰も意見なんていわないでしょう

<p>・参加したくても、行政からの発信がうまく伝わらないので、行事に参加できなかった事がある。市民も、行事予定を知ろうとホームページなどで努力したり、受け身ばかりではいけないと思うが・・・。</p>
<p>・参加してもらうための考え方をもう少し盛り込んだ方が良いと思う。</p>
<p>・参加しない人への情報提供は大変重要だと感じます。無理強いすることは良くありませんが、知ることでまちづくりに参加しようという気持ちになったり、またある人にとってまちづくりの方針が不都合である場合にそれを拒否する機会が減ることも防げるのではないかと思います。</p>
<p>・参加は強制ではいけないけれど、なかなか進んで参加してこない若い世代が参加できるようにすることは良いことだと思います</p>
<p>・上記○だけでよいと思う。</p>
<p>・情報提供しても、関心がなく読まない(見ない)人もいます。関心を持ってもらう工夫が必要ではないでしょうか？参加しない人、参加できない人でも意見が言えるシステムの構築を！</p>
<p>・特に小学生などの文面は気になる。いま新城市では高齢者をどう活動に参加させていくのかの方が重要度が高いと私は考えます。これだけ多くの高齢者がいるのになぜもっと活動し活躍させないのか疑問である。</p>

「まちづくりのための情報」について、情報のあり方などを次のようにまとめました。

(5) まちづくりのための情報

- ・ 市民が物事を判断する上で、情報は必要不可欠であり、行政は市民の知る権利を保障しなければならない。

(共有)

- ・ さまざまな活動が互いに有効に機能するため、それぞれの活動や組織内部の情報を共有する。
- ・ 異年齢の人達、異業種の人達が交流できる場づくりにより、さまざまな情報を共有でき共通認識を持つことができるようにする。

(伝え方)

- ・ お年寄り世帯、アパート暮らしの人、外国人などが情報取得の機会を失うことがないようにする。
- ・ 情報の発信・受信が困難な人にも情報伝達ができるように工夫し、情報格差が発生しないようにする。
- ・ 相互のやり取り・双方向性を重視した情報の提供が大事である。
- ・ 女性の持っている地域の情報を活かし、男性はそれをきっかけに参加することもあるので、口コミなどの情報伝達の方法も重要である。

(しくみ・場)

- ・ まちの魅力を集める拠点づくりをする。地域活動とその組織など（ボランティア・NPO等）が一覧できる場所と機会をつくる。（公民館や支所など）
- ・ 行政が一方的に情報を流すだけでは、不十分であり、市民がほしい時にいつでも情報を取得できるシステムをつくる。
- ・ 情報提供の場をつくり、必要な人に必要な時に必要とする情報が手に入る（届く）しくみをつくり、しっかり知らせる。

(その他)

- ・ 地域からの要望等をオープン化する。

Q5 この「たたき台」の記述について、あなたのご意見をお聞かせください。

・(共有)いいと思います。(伝え方)煩わしい。(しくみ)いいと思います。(その他)いいと思います。
・(しくみ・場)公民館なら身近で参加しやすいと思う。(その他)市のHPを使う。
・「異年齢の人達、異業種の人達が交流できる場づくりにより、さまざまな情報を共有でき共有認識を持つことができるようにする。」がとても興味深いです。
・「伝え方」女性を生かし……→女性ばかりでなく男性も同じだと思います。女性の良さや男性の良さを生かし、それを元に進めていくことが大切だと思います。これが男女参画ではないかと思っています。大まかな考え方は私も考えていたことであるが、これを具体的に段階的にどのようにしていくかを話し合い、進めていくことが大切であると考えます。話し合うきっかけがなかなかなく、あるいは参加しにくいときもあり、あまり情報が入ってこないです。一部の人はよく知っているが後の人は疑問です。
・「防災無線の放送の時間帯」・お年寄りの世帯もいるのだから 防災無線が外にいてもわかるような方法をとってみてもいいと思う。(もちろん時間帯は考えるべき) 紙面ではなかなか情報はつながらない。
・〇印は良いと思う。
・「口コミなどの情報伝達の方法も重要」とありますが、口コミは伝われば伝わるほど正確さを欠くので疑問を感じました。政府が原発に関する情報をパニックがおきるからといって公開しなかったことがあったと思いますが、新城市はこのようなことがないように、大切な事実はありのまま伝えていただきたいです。知る権利は誰にでもあるということを忘れないでほしいです。
・アパート暮らしなため、このような情報のあり方をしっかり進めていって欲しいです。
・いいと思う。
・一般市民に「おしつけ」するのではなく、市職員が市民一人ひとりの声、心の声を聞き出す事が大切なのではないかと。昔の行政より今の方が悪くなっている。
・お年寄り世帯などが、交流の場に参加できないなど、情報が困難な場合が多くなると思う。人が孤立しないようにする実践対策が必要だと思う。
・お年寄りや外国人の方は確かにインターネットができなかったり言葉が分からなかったりで情報を得にくいので、これをたたき台にしてシステムを作るのは良いと思います。
・記述のとおりでいいと思う。
・具体化されていて分かりやすいと思います。
・口コミ等の情報伝達方法を活用し、男女の性差を生かした情報収集に努める。…ということか？これだと(伝え方)というよりも(情報収集)になってしまうので→男女の性差を生かした情報収集に努め、口コミ等の情報伝達方法を活用する。…とした方がよいかも。
・ここまで、いろいろ私の意見を書かせていただきましたが、(5)まちづくりのための情報…は、よくわかりません。まちづくりのための情報は、どこで誰によってつくられるものになるのでしょうか。新城市自治基本条例(たたき台)について知識がなくて申し訳ないです。
・ここまで記載しなければ伝わらないのですか。
・このたたき台を作成しただけでなく、必ず実行してほしいと思います。
・これで良い。進めていく時に、必要な事が起これば追加する、項目も必要では？
・今回の「(1)～(5)」に対し、思いつきの文書が羅列されている様で、市民が理解できるものではない。
・自治は基本条例について、あまり考えていないので答えに困ります。
・市民の知る権利を保障するために行うことは読んでイメージがわくので良いと思うが(その他)の内容は、よくわからない。地域からの要望に回答した上で知らせるのか？ただ、どこの地域がどんな要望を出しているのかについて公表するのか？わかりません。
・市民の誰もが、情報を知らずにいたなどというようなことがないように、考え工夫して頂けることは素晴らしいと思います。欲しい時に、欲しい情報が手に入ることもありがたいです。
・市役所に頼みたい時は直接はダメで区長を通じなければダメと言われたが、区長は市役所の手足ですか。定義等をいくら作って文にしても、ナンセンスな気がします。
・住民が主役であるまちづくりのため、情報の共有を図る。また、情報公開を積極的に進める。住民のまちづくりに対する理解や参加の高まりと住民の意見を把握し反映させるため、広報広

聴活動の充実に努める。
・住民の声を素直に聞いてほしい。第2東名はいらぬ。ダムはいらぬ。政争はいらぬ。市役所、市長は実行せられたし。
・情報がたくさんありすぎて、まとめるのは、大変ですね……。ネットは便利ですが、利用しない人もたくさんいますし。市役所が一番、情報発信の場であるのが良いと思う。また、人が集える場でありたいのですが、今の市役所では、そのような場はないですね……。半田市にある知多半田駅直通にある大きなビルの中にある市民センターみたいなところが新城にもほしいです。
・情報収集は我々年寄りにはP. Cを使えないのでそのところを考えて欲しい！！最後に行政について……”まちづくりでも何でも先立つものは資金、これは徴収を増やす(増税)のではなく”無駄金を失くすことです。何でも国からの達しを鵜呑みにせず、新城に適した使い方をすべき。(例えば、子ども手当、余裕のある家庭には必要ないと思います(調査必要))これ以外でも、生活保護手当(収入の調査不備)、消費税の徴収……。小売業者がともに収めているが、我々払う方から見ると不信を持ちます。市長の方針はありきたり、これは！！と思うものがないように思う！！
・情報提供の場は非常に大切でありがたい。現在必要なときにもその制度を知らないため申告できない人が多いように思えます。よって何らかの形で各家庭に該当する時効の制度を配布できないものだろうか?(母子・父子家庭、交通遺児、障害者等)
・情報提供は、行動している人より高い能力や洞察力が必要と思います。最初は「広報ほのか」に頼み込み、優良事例、名文章……等で全国的に引用されるようになったら、単独に発表、発刊したらよいとおもいます。
・情報については、「ほのか」に頼らざるを得ない……。現状では一番効果がある。
・情報の伝え方、取得できるシステムとして、モバイルサイトの充実も必要だと思います。
・情報の発信、受信は一方通行のものでは限界がある。しくみづくりは大変ですが、情報の拠点がしっかり役割を果たせばいいと思います。
・情報発信は、様々してくれていると思いますが、自分にとって必要でないものは知ろうという関心がない為、人任せになっていました。「まちづくり」を真剣に考え、時間をかけ、「たたき台」を作ってくれた方々がいるのだと初めて知り、反省しました。
・情報を得る事、得る手段が大事かと……。知りたい事は自分で調べるが、それ以外でも知識として知っておく事が大事なので……。
・情報を正確に早くより多くの人に伝えて下さい。
・情報を提供していくことも大事だけれど、市民もできるだけ多くの方が興味関心をもって、まちづくりに取り組めるような意識づくりをしていくことも大切だと思った。市民から情報を得たいと思えるようにしていく必要があると思った。
・新城市は中国やブラジルの方もたくさんいるので、どの国の人達にもわかるよう伝えるのは必要なことだと思います。口コミは、良い面もありますが、悪い面(間違ったことが伝わるなど)もあるので注意が必要ではないでしょうか?
・すべての人に情報を行き届かせる事は、とても難しい事なので、お金もかかる事だと思う。たとえば、公民館だとしても整備の整った所もあれば、老朽化が進んでいる公民館もあるので格差があると思う。
・全て必要なことだと思う。
・総論的で実現は?と思う。
・その通りだと思います。時間のない方でも関わりたいと言われる方の思いや熱意をむだにしない。
・誰でも欲しいときに情報を得られるのは良いと思う。
・地域からの要望等のオープン化はいいと思う。
・伝え方のところで、お年寄り世帯への配慮はその通りでありとても重要であると考えます。
・同感です。
・特に大切な情報はメールでお願いしたい。
・とても良い。実行力のある書き方で条例らしい。情報公開はぜひ実行して欲しい。
・必要な情報が、必要とするときに手に入らない。どのようにすれば情報を手に入れられるのか

をしっかりと知らせる仕組みづくりをする。
・人により(個人)情報を知る場所が異なります。現在のままで良いと思う。
・一人では何もできない。何かをなし得るには無我夢中のリーダーが必要。それをどう選ぶか。選ばれたリーダーが次なる組織をどう構築していくか。情報伝達でも、この組織がないとダメだと思う。
・フリーペーパーに載せるのはどうか？まちづくりにあまり関心のない若者が見るように、何か楽しいイベント情報とか公告を載せて目につくようにする。
・ボランティアが必要なときは広報紙「ほのか」に記してはいかがですか。自分にできることがあれば参加します。
・ボランティアやNPOがどこにあり、どうしたら入れるか分からない人も多いと思う。
・本当に行われる事を願います。
・まず始めに、できることから実行する。多くを望まず情報に理解をもってくれそうな人から実行をしてほしいです。
・まちづくりの為に、次世代(小・中・高生など)の意見を取り入れられるような場をつくり、若い人達も住みやすい環境になっていくようにする為にまちづくりを進めていってほしい。
・まちづくりの場所として、まちづくりセンターなどが必要ではないだろうか。もうすぐ、新城市も人口5万人を切る日は間近である。今こそ、市民全体で考える必要があるだろう。まちづくりセンターなどで、様々な経験を備えたまちづくりコーディネーターなどを非常勤で設置して地域活性化の為に本気で取り組み必要があると思います。私も新城で生まれて18歳まで新城に住み、4年間宮崎、2年間その後、大好きな故郷新城市へ戻り県外通勤をして10年目である。
・まちづくりは、他の市町村と比較して行うことも、ある程度必要だと思う。大きな赤字を出してまでのまちづくりは不要だと思う。私たちのおかれている立場を、まず把握できるようにし、それに伴う改善点を皆にもれなく伝えることが大切だと思う。
・まちの魅力を集め、発信する拠点づくり。地域活動とその組織との連携を深める。
・昔から植木の方程式に峰は松、中程桧、谷は杉という言葉があります。難しい事はさておき、情報は当たり前流すのが上策で無駄なく、無理せずむらのない様に配慮して取り組んで欲しいと思います。あきらめたら馬の耳に念仏で、どんな良い情報を流しても風の吹くどこかへ消えていってしまいます。
・無線放送の最大限の活用を望みます。
・もっとお年寄りや外国人などが住みやすいまちづくりをする。
・問題ないと思います。
・良いと思います。
・良いと思います。これだけたくさんの情報を流すのは大変でしょうね。
・外国人にたいしては、知らないことも多く言葉の問題もあり不安もありますので、一緒にいろいろ考えたり行動したりするには、誤解を生じないかといつも不安です。
・情報のオープン化に向けて努力しても、野次や苦言を言う人もいるので、その努力も見えない様なかたちにできたら素晴らしいと思います。
・情報の公開はもっと積極的にしていきたいと思います。公開する場所をもっと増やして下さい。
・全員が良い人ではありません。逆に全員が悪い人でもありません。各自の能力、性格にあわせ役割を与える(任せられることができる人に仕事をやらせよう)ことが重要だと思います。
・伝え方について、老人クラブの集まり、デイサービス、PTAの集まりなどの機会をとらえ、きめ細かな対応が求められます。説明会等は、少なくとも「小学校」単位で。
・特に問題ないと思います。色々試行錯誤しながら作り上げていけば皆のものとなるでしょう。余りにも抜けの無い、穴の無い、と考えすぎているはスタート出来ないんじゃないかと危惧します。良かれと思うから、やって見る。不具合があれば修正する。そんな柔軟さを持って前に進むことを期待します。
・発言だけではなく、小学校や官庁以外に民間企業に協力を依頼するもの、重要ではないか？住む人だけではなく、市内にある民間企業にも協力を仰ぎ、伝達しにくい情報を掲示してもらうなども、有効ではないか(難しいかもしれないけど、努力しなければ、この条例自体、無意味だと思う) 薬局やスーパーは高齢者から幼稚園児まで絶対いくから。

・必要な情報はどこでどうやって得るのか？実際のところ私にもよくわかりません。誰に聞けばよいのやら？どこに行けばよいのやら？いかに情報不足であるのか。文面だけが躍っている感じがします。辛口ばかりですいません。

・理解はしやすい。情報提供は活動に直接影響するので、いろいろな工夫が必要と思う。